

「1.17メッセージ」応募用紙

震災から4年を経た1999年にグループで神戸に行ったときの話しです。あの大地震があったことを感じさせない街をバスで移動する中で、僕はあるものを目にしました。仮設住宅です。それを見て神戸を4年前に大地震が襲ったということを改めて認識させられました。最近でも十勝沖地震や中越地震など大地震は多く発生しています。大地震の記憶をこれからにとどめていくことが今の僕たちのやるべきことだと思います。

(お名前) 中村誠

(年齢) 26

(住所) 北海道帯広市

忘れたい

っくるが知らぬことが 自然の力である
 私達が住む日本誰のせいでもなく 平和が崩
 れる時がくる それが地震国である 哀しさ
 である
 しかし負けては 生きる希望を失くしてし
 まう まさかの神戸に マグニチアの力がく
 るとは信じられませんでした。
 頑張れと声あげてしまいました。我が身に恐
 るテレビの画面 あんまり目と合わされて 目
 が暮らしの暖かさがあろう 神よひどいん

じやないか！
 人命を救う事が先決だ 皆一所懸命だ 手
 汗を握り応援して、僕は大阪に住んでい
 たこと忘れていた。神戸は三の宮港が気にな
 ったてよく行っただもんだ。それが十年目にして
 災地に行こうとは 敬馬きいっばい 胸に広が
 りました。
 ボランティアの人達 よく 救助隊の中に加
 わって 行く之不明者に協力してくれました
 だ。そんなことで 11月17日は 忘れたい

北海道札幌市

福田弘道記

63歳

「1.17メッセージ」応募用紙

前略。

私が、神戸を訪れたのは、阪神・淡路大震災から3年後の1998年の8月のことでした。阪神・淡路大震災が起きた当時は、私は高校3年生の受験生で、確か、センター試験の終わった翌日でした。結果が散々で、気力をなくしていたその日の朝、学校へ登校する前のニュースで地震を知りました。とても、びっくりしたのと同時に、それより少し前、私の住んでいる北海道南部では奥尻島を中心に南西沖地震で多くの被害を受けていたので、その地震の怖さは容易に想像できました。しかし、私は、自分のことで精一杯で何かをしようという気にもならず、テレビや新聞で報道を見るにすぎませんでした。その後、1年の浪人生活を経て、私は、長野県にある信州大学に入学し、2年になると行政法のゼミに参加することになりました。2年次はほとんどが判例の勉強が主だったのですが、私たちが3年になり、ゼミの中心となったとき、その方針を改め、現場に出て、行政との関わりを学ぶとするのが、新しくゼミ長になったF君の考えでした。そして、その延長で毎年行われている夏合宿のテーマが阪神・淡路大震災となったのでした。ただ、何も全くわからない私たちだったので、市役所を退職され、3年に編入されたKさんの勧めで、神戸でボランティアをしている団体まち・コミュニケーションと知り合うことができました。その団体が8月に主催する御蔵学校という、被災地学習会に参加して、ゼミ合宿の事前学習としようということになりました。御蔵学校に参加することになったのは、ゼミ長のF君、副ゼミ長のH君、私、西宮出身の2年生のM君の4人となり、8月の下旬2泊3日の日程で参加することになりました。それ以前に、私たちはゼミで何度も事前学習をおこなって、色々な文献を読んで、勉強をしていました。御蔵学校参加の時、1日早く神戸に着き、街を探索しました。神戸の観光地を色々見て回りましたが、震災の爪あとらしきものは感じられませんでした。御蔵学校初日、午後、開校式を行い、一般コースと福祉コースの2つに分かれて学習かいを行い、(ゼミ長と副ゼミ長は一般コース、私とM君は福祉コース)御蔵菅原地区を見学しました。夜は、御蔵に住む住民の方の体験談を伺うことができました。2日目、午前、福祉コースの私は、兵庫区の障害者団体の取り組みを伺った。午後は、西須磨の都市計画に反対する会の活動などの話を伺った。夜は、公民館で、大学教授のMさんの都市防災についてのお話を伺うことができ、その後、懇親会で盛り上がった。3日目、福祉コースは、西区の仮設住宅を見学し、支援活動を行っている団体に現状を伺うことができた。3日間を通して、私は、何とも言い難い心境にいた。このボランティアまち・コミの言おうとする行政に対する批判は最もだと思おう一方、そこまで、言わなくても、むしろそれは個人の問題で、そこまで、行政に求めることは間違いではないか?などなど、最後の反省会でとてつもなく失礼な発言をしてしまったのでした。1ヵ月後の9月下旬、ゼミ合宿。御蔵学校の講師をしてくださった方何人かにコンタクトを取り、講師をお願いし、お話を伺ったり、教授の知人の神戸市役所、(実際に講師をしてくれたのは、非営利法人の方だったのですが、)行政側の話を聞いたりなどして、3泊4日の合宿を終えました。合宿を終えて、力が抜けてしまったのか、ゼミは団結力がなくなり、バラバラになってしまいました。3年でゼミが終わり、4年になると就職活動になり、私は目指していた公務員なるべく勉強を始めました。ところが、いつまでたっても、勉強に集中できず、自分の将来が見えなくなっていました。恥ずかしながら、私は、色々な疲労が重なり、在学中にうつ病になりました。もちろん、公務員試験はすべて惨敗し、病気の療養もあり、地元に戻り、仕事を探すことにしました。震災から10年経った今でも、夏の暑い時期や阪神・淡路大震災のあった1月17日には、御蔵学校のことやゼミ合宿、高校3年だった当時を思い出します。合宿に行った時から、6年経っているから御蔵地区もかなり変わったことと思います。あの頃は、震災で家が崩壊し、その家を取り壊してしまっていたから、更地のところが目立っていたけど、家が建ってその町並みも当時とは全く違うものとなっていることでしょう。あんなに熱くなった夏は後にも、先にも一度だけです。良い経験をさせて頂いた神戸の街に感謝しています。まだまだ、問題はあるとは思いますが、だけど、一つ一つ時間はかかるけれど解決してゆけるものだと私は信じています。頑張れ、神戸。

(お名前) 菱田眞由美 (ひしたまゆみ)

(年齢) 28歳

(住所) 北海道上磯郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

TVで見ている時は、人事だと思っ、て見ていました。
 でも、ここにきて、めっちゃ、ちや大変だ、た、と、感、動、し、ま、し、た。
 大変な生活の中、上、し、生、き、て、来、よ、う、な、か、て、感、動、し、ま、し、た。
 こ、れ、か、ら、も、そ、う、や、ら、事、か、な、い、よ、う、願、っ、て、い、ま、す。

| | | | |
|-------------|------------------|-----|------|
| ふりがな お名前 | 片山 浩 片山 浩 | 年 齢 | 17 才 |
| ご住所 | 北海 道 府 県 樺 戸 市 郡 | | |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

実際に体験した人の気持ちよくわかりました。

本当にこわいですね。

私も色々ねことを参考にいたしました。

もう二度とないようにねかっています。

| | | | |
|-------------|---------|----|------|
| ふりがな お名前 | 大久保 麻里 | 年齢 | 17 才 |
| ご住所 | 北海道 市・郡 | | |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

9年前の頃、大地震があったので大きな被害が増えてしまいました。神戸の人は立派になって素晴らしかったです。僕をお見えた時、壊れた物とノートの数を見て感動しました。神戸の未来に向けて下さい。とても神戸の人は立派になる。

| | | | |
|-------------|------|------|------|
| ふりがな お名前 | 其田浩司 | 年齢 | 17 才 |
| ご住所 | 北海道 | 都道府県 | 札幌市 |

「1・17は忘れない」

当時、私はオホーツク海流水の街・ガリンコ号の「紋別市」で、地方公務員として住んでいました。その日はたまたま道内スキー場施設の視察で出張で、早起きでした。テレビを入れると何か大阪方面で地震が発生したとのニュースがありました。北海道唯一「市」で鉄道のない有り難くない意味で有名？でした。そんなことでバスでの出張でしたが、視察先でのテレビニュースを見る度に、大規模な地震で各地で火災が発生して、被災地での大混乱がテレビの前に映し出され、とてもじゃないけど視察どころではなかった思いが、今でも鮮明に頭をよぎります。

帰宅してから地方新聞（1月17日付け北海道新聞・夕刊）に目を通しました。見出しは「近畿に直下型大地震・96人死亡、223人生き埋め」、火災発生・交通もマジとの報道でした。更に、NHKテレビからとして写真（8：53・中継・神戸市内）でと、地震のため家屋が倒壊し、燃える神戸市内の生々しいものでした。勿論テレビ放送の方で大惨事の現状が目の当たりに映し出される度に、大地震の恐ろしさを感じたものでした。

これは、歴史的な大惨事になると、「新聞の切り抜き」を取り始めました。印象的だったのは「阪神高速道路が橋脚ごと横倒しになった」と、「崩落した高速道路から落下を免れた大型バス」の写真報道は、信じられない思いが今でもしています。中抜きになります、切り抜き帳も5冊になっています。新しい報道では、北海道新聞夕刊（16・10・16日）「ボクたち10歳になったよ！震と阪神大震災復興元気にアビールと震災前後に生まれた子供達の写真が掲載されました。更に、11月1日現在の神戸市の推計人口が震災前のピークを216人上回り、過去最多の152万581人と報道され、震災10年後の神戸市の復興は着々に進んでいると思われまます。まだ一度も神戸市には行ったことはありませんが、今、NHKの朝ドラ「若葉」を楽しみに見えています。「あの時は忘れない」とのモニュメントも写しだされ、ヒロインが描いている緑に囲まれ復興された新しい神戸市を、私なりに頭に描いています。生きているうちに一度行ってみたい思いを願ひ、世界一とも言われる港神戸夜景をイメージにして、益々の復興を願っています。

住所 札幌市

氏名 後藤 明（ごとう あきら）

年齢 六十六歳

あの日から十年。被災していない私でさえ、
 相当なショックを受けた。被災者の苦悩は、
 想像を絶する。大変ですが頑張って下さいと
 いう言葉をよく耳にするが、私は安易に口に
 してはいけないうような気がしてならない。負
 けてたまるかと、歯を食いしばって苦境に立
 ち向かうのも大切だが、苦しんでいる自分を
 受け入れるのも大切ではないだろうか。まず
 自分の苦悩を心の奥底までずんと落として
 あげる。そこをスタートラインにして、休め

「17は忘れない」

ながらでもいい、ゆっくり歩いて行くことで
 苦境に立ち向かう真の勇気が湧いてくると思
 う。主に、神戸を舞台にしたドラマに出てく
 る言葉。人生生きちよるだけで丸儲け。何度
 も死を考えたことのある私だけど、今こうし
 て生きています。生かさわっている。生きていな
 ければ、何一つ感じられない。人間は支え合
 いながら生きていく生き物なのだから、みんな
 なで一緒に手をつなぎ、支え合い、助け合い
 ながら生きていこう。生きていますだけです

いんだよ。

北海道札幌市

根川 知美 27歳

「1.17メッセージ」応募用紙

1月17日当日、京都に住む祖父母へ
連絡が全く取れなくなりました。

10年経った今日、当時の不安な気持ち
鮮明に思い出されます。

震災で亡くなられた方々の死が無駄に
ならぬよう、この悲劇をきちんと伝えていこうと
思います。

(お名前) 北内 由夏

(年齢)

26

(ご住所) 北海道 札幌市 中央区

「1・17メッセージ」応募用紙

あの日のことは忘れません。

今は遠いところにいますが 1・17は忘れません。

10年といっても 心の傷が癒されていない方は多いと思います。

何もできませんが その傷が少しでも直ることをお祈りしています。

(お名前) よりがな こうましんすけ 高馬俊輔

(年齢) 46

(ご住所) 北海 都道府県 札幌 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

震災発生当時、尼崎市に在住しておりました。

西宮市との境を流れる武庫川を一本隔て、

西側は被害甚大、東側は軽微な被害状況だったこともあり、私が住む周辺では、家屋の損壊などは

あったものの、人命に関する大きな被害はありませんでした。

しかし、当時、自宅の窓から西の方向に、火災によるいくつかの黒煙が立ち昇っていた「あの光景」を思いかえすと、今も心が傷みます。

震災の翌年1月に長男が誕生しました。

今では遠く離れた札幌市で小学校3年生の冬を迎えています。

この我が子の成長と神戸の着実な復興とを

重ね、県外からではありますが神戸市のご発展を

お祈りしております。

(お名前)

寺田 篤

(年齢)

39

(ご住所)

北海道札幌市

生き続けろ街へ

二〇〇五年一月十七日で阪神、淡路大震災から十年にたつた。私大震災を知ったのは何故か昼過ぎでした。先日の新潟中越地震でTV、ラジオが各局共けとんど一番にニュースに切り替わり、中には翌日以降にも続いていたを見て、あつときもこうだったことを思い出ししめた。

この十年で、あれほどりかえり街は驚くほど見事に復興したと思ひます。一九八一年のポルトピア博覧会がリーマソングであつたが、ポルトピアにけり時を過ぎ入けらつり時代は変わつた。それでも都^{まち}市^ちは生きるとあります。目に見え方とこるでけすだ復興が存されては存しとこるが有り、人々もPTSDほど震災で傷を抱えたす平日々を過

ンしておられる方がおられると思ひます。それでも街は立ち直つて来たし、これは私も立ち直つて行けると思ひてはります。

青森県弘前市
弘前市
藤岡菜穂子
(39才)

「1.17メッセージ」応募用紙

あの日から、この国ではいろいろなことが変わりました。災害に対する取り組みにも進歩が見られます。地震災害に強い建物やいろいろなハードの整備もあります。地震情報をいかに迅速に、しかも正確に伝えるかという取り組みもあります。いずれも、地震による被害を少しでも減らそうという思いに駆られて、です。わたしたちは、国立国語研究所やNHKをはじめ多くの研究機関の有志とともに、災害情報から疎外された人々へ災害情報を伝えるためのツール「やさしい日本語」の研究を始めました。その過程で、ラジオによるやさしい日本語の放送実験にも取り組んでいます。救える命を一つでも多く。今わたしたちは、阪神淡路大震災から多くのことを学んだ恩返しを、やさしい日本語の実用化によって形にしようと考えています。

(お名前) 庄司輝昭

(年齢) 48

(住所) 青森県弘前市

「一・一七は忘れない」

平成七年一月十七日の阪神・淡路大震災。

この日と三月十一日は私にとつて生涯忘れる

事の出来ない日となった。

あの日の朝、いつもより遅くテレビのこ

ースを見ようとスイッチを入れた。するとこ

ルや高速道路は横倒しとなり、家屋は倒壊し

て、見るも無残な映像が映った。初めて見る

大地震の映像に強い衝撃をうけた。そして、

地震は多くの人達の責い命を奪った。

阪神大震災から二カ月にたろうと三月

十一日、私の身体に異変が起きた。通

り歯科医院で心停止していった。医師も周

りの懸命な処置で命を取り留めることが出来

た。しかし、その後体調は元には戻らず、以

来病院へ通う日々が続いている。

あの年から既に十年にたつた。あの日の衝

撃は心身の傷は何年たつても癒えることはない。

それにも人は生かされ続けるための

力はない。亡くなった人の分まで、共に

岩手県下閉伊郡

工藤 唯男 五十六歳

「1.17メッセージ」応募用紙

僕が小さいときに阪神・淡路大震災が
 ありました。その時は、テレビで被害を見た
 だけで、遠いところで起こっていること、
 大変だなあ〜くらいにしか思っていません
 でした。高校生になって、大震災の恐ろし
 さを知らぬ者ふうになると、あの時の自分
 はダメだったなあと思います。他人事として
 考えていた自分が取っ手です。

命の大切さを教えるべくありがとうございます
 ございました。力を強く生きて下さい。

| | | | |
|-------------|------------------|----|------|
| ふりがな お名前 | 菅野 王 佑 | 年齢 | 17 才 |
| ご住所 | 山形 都道府県 陸前高田 市・郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

修学旅行で防災未来センターを言われました。

ひどい地震だったとは聞いていたものの、そこまでひどいとは思いませんでした。私の住む町にも、大きな地震が来たが、阪神・淡路大震災を考えると、大したことないかと感じました。

被災者の方はこの大地震を忘れられないと感じます。私達も毎朝、頭の片側に「地震」という言葉を残して生活しています。

心の傷は癒えられないと感じますが「頑張ってください」。

| | | | |
|-------------|----------|------|------|
| ふりがな お名前 | | 年齢 | (6才) |
| ご住所 | 山手 石手 | 都道府県 | 市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

大地震の映像を見て、本当に涙が出ました。
 あんな大変で恐い体験をして、どうやたら
 あんなに一生懸命がんばれるのか私は不思議でした。
 私だったら絶対に立ち直れない。だから人間のかは
 本当にすごいものだと思いました。
 今日、ここに書いたことは本当に良いことだと
 感じました。

| | | | |
|-------------|--|-----|------|
| ふりがな お名前 | 佐藤 由望 伍 藤 由 望 | 年 齢 | 17 才 |
| ご住所 | 岩手県 <input type="checkbox"/> 都道府県 <input checked="" type="checkbox"/> 大船渡 <input type="checkbox"/> 市 <input checked="" type="checkbox"/> 郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

がんばろう神戸

| | | | |
|-------------|---------|--------|------|
| ふりがな お名前 | 村上 樹 | 年齢 | 16 才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 | 大船渡 市郡 | |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私も、学校のにいたとき、大きな地震を経験しました。
 これほど大きな地震ではありませんでしたが、建物が
 こわれてくるところは少したけわかります。
 この様な、地震にあつた人たちは~~強い~~強い人々だと
 思います。いづれどんなことがあつても、一生懸命生きていくことは
 すばらしいと思いました。

| | | | |
|-------------|----|------|------|
| ふりがな お名前 | | 年齢 | 19 才 |
| ご住所 | 山手 | 都道府県 | 市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

私の地域でも地震がよく起ります。
 阪神・淡路大震災がどれほどおそろしく、
 人々をかなしませたか、今私の中からはかたがた、
 人と防災未来センターに来て、よくわかりました。
 人間は自然にははまからうことができません。
 本当に自然はこわいです。
 私もいつ自分の地域に地震が起るか、心配しています。
 起きるときは、みんなが助け合ってくれと信じています。
 だから、安心して、勇気をもって、一緒に暮らして
 行きましょう。

| | | | |
|-------------|----------------|-----|------|
| ふりがな お名前 | にい ぬ子 新沼 晴香 | 年齢 | 17 才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 | 大船渡 | 市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

今日、ここに来てこそ地震の様子のひどいことを知ることができた。テレビで見ても流してしま、た自分がなさけなく感じた。阪神大震災に参ら、てしまったことは、つら、いと思、います。私は、なぜか、落泣きそうになり、つら、さを少し理解できた気がしま、す。この世の人は、他のど、この人より、つら、い事、人の人情を理解しているま、はらしい人た、さでま、このセ、ンターで自分の心か、動きました。も、っと、多くの人に理解してま、らえるように頑、張、て下、さい。そして、痛みをか、にかえれるように頑、張、て下、さい。たくさ、んのボ、ランティア活動にも参、加したいと思、います。

| | | | |
|-------------|----|------|----------|
| ふりがな お名前 | 吉田 | 年 齡 | 17 才 |
| ご住所 | 山手 | 都道府県 | 陸前高田 市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

1/17の阪神・淡路大震災のことは、ニュースなどでたくさん報道されていたのを今でもおぼえています。

私が住んでいる大船渡でも、昨年の5/26 ^に大きな地震があたりと、地震とは切っても切れない関係(?) ~~です~~です。阪神・淡路大震災 ~~まで~~まで“大きな地震”ではありませんでしたが、共感できることもあり、私は“人と防災未来センター”に来て、当時の現地の人達のたいへんさや、苦勞なことが感じられました。被災地のみならず、当時のできごとをけして忘れず、勇気を持って生きて下さい。そして、未来に希望の光があふいた”ということを忘れないで下さい。

| | | | |
|-------------|---|----|------|
| ふりがな お名前 | 小野寺 望 | 年齢 | 16 才 |
| ご住所 | 岩手 <input type="checkbox"/> 都道府県 <input checked="" type="checkbox"/> 大船渡 <input type="checkbox"/> 市 <input checked="" type="checkbox"/> 郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

テレでみて、すごく悲惨だなぁとは思っていたけど、
 今日資料をみて、さらに阪神の人たちは
 大変な思いをされていたことがわかりました。
 1/17で10周年をむかえる阪神や淡路の人たちには、
 明るく、元気に、でも、地震のことは忘れず
 生きぬいてほしいです。最後に、みなさんには、
 「希望」をもってほしいと思います。

| | | | |
|-------------|-------------------|----|-----|
| ふりがな お名前 | さかもと みさき 坂本 未咲 | 年齢 | 17才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 大船渡市 市郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

修学旅行でこのセンターに来ました。

住んでいる所も遠い^{そのこ}、まだ小さかったので、

阪神・淡路大震災についてあまり知りませんでした。

ごめんなさい。

~~★~~ 10周年たっても地震のことを忘れずに生きていることと思います。

私も、いつまでたっても忘れずにいます。

20年、30年とたっていくでしょうけど、頑張ってください。

| | | | |
|-------------|---------------|----|------|
| ふりがな お名前 | | 年齢 | 17 才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 気仙市 郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

1月17日にテレビで阪神淡路大震災から何年経った
 などの類のニュースを見ることがあり、たしか被害の完態を知
 りたのはこれが初めてで、衝撃を受けた。
 今も震度6弱という地震は経験したことがない。
 震度9の時はこんなにはなかなかなかった。

| | | | |
|-------------|----------------|----|-----|
| ふりがな お名前 | 佐藤 可菜子 | 年齢 | 17才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 大船渡 市郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

7才の冬休みでした。朝、2たつでTVを見ていたら建物が崩れて、あちこちで火の手があがってました。母に南西地方で地震があったと教えられ、阪神大震災を知りました。漠然と、その時に現実味がなくて被災者の方がかわいそうだと思いました。けれど少しおとなになるにつれてかわいそうだとこの感情は失礼だと解りました。凄いなと思います。自分達と立ち上がった阪神・淡路地方の方は素晴らしいと思います。7才の小学生だった頃は見えなかつた“強さ”を今は見る事ができます。頑張っていて下さい、というのほすく人事ながら、頑張っていてほしい、と言いたいです。私も私に出来ることを頑張ろうと思うから。

| | | | |
|-------------|-----------------|----|------|
| ふりがな お名前 | 志田 舞衣子 | 年齢 | 17 才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 大船渡 市 郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災の記憶は、ほんの少ししかおぼえて
なくて、このセンターの記録や映像を見て、いかにすごい
規模だったということが今わかりました。

私の住んでいる地区でも、6弱の地震が発生したことが
あって、細部活をしていました。それでも、その地震で学校には
とびかかるとしてしまったり、ひかいはとまりました。けど、それ以上に
こちらの方は被害が出て、死者がたくさん出て、とても
やりきれない感じでした。

今は、その震災をのりこえて、~~発展していています~~
こんなにも普及していています。これからも、この震災を
ドネに発展していくて下さい。

| | | | |
|-------------|-----------------|----|------|
| ふりがな お名前 | 吉田 | 年齢 | 16 才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 大船渡 市・郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

今まで「大変そう」「怖い」としか考えていばかり
 だったけど、今回映像を見て、恐怖を感じました。
 止まった時計や、変形してしまっ、鉄、どれも、
 恐ろしいのを感じました。
 無念に死んでいった人が多いと思います。
 私たちは、命を軽んじてはいけませんと思います。

| | | | |
|-------------|----------------|----|------|
| ふりがな お名前 | まつた 松田 | 年齢 | 17 才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 仙台 市・郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

小学生の時のちょうど自分の誕生日の前日に震災が起きてニュースでやっていたのを鮮明に覚えている。
幼いながら、すごいショックを受けた。

| | | | |
|-------------|----------------|-----|------|
| ふりがな お名前 | 高橋 曜 | 年 齢 | 16 才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 気仙 市・郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

実際、テレビなどで災害後の映像は何度も見たけど、どちらかは見たことなかったのでもすごくおもしろかったです。

| | | | |
|-------------|--------------------|----|------|
| ふりがな お名前 | なかむら しおり 中村 志穂里 | 年齢 | 17 才 |
| ご住所 | 岩手 都道府県 大船渡 市郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

田平様から、お手紙をいただいてから10年になるのですね。

受け持ちの子どもも新聞への投書をきっかけに、私と私の学級の子どもたちとの交流が始まったのでした。小学1年生の子どもたちは、お顔も知らない「おじい様・おばあ様」に一生懸命クリスマスカードを作りました。翌年には、盛岡まで来ていただき、子どもたちも私も大感激いたしました。

ご自宅が燃えてしまっても「60歳からのスタートです。」とおっしゃっていたこと、大好きな詩作を通して出会えた竹下景子さんとのツーショットの写真、毎春季節の便りとして送ってくださる手作りの「いかなごのくぎ煮」。私はいつもいつも励まされ、教えられ、温かな気持ちに包まれます。

先日いただいたクリスマスカードの「新潟の皆さんは、大変でしょうね。」の一言。被災されたからこそ語れる深い言葉でした。

つらい震災を通してではありましたが、この貴重な出会いに感謝しています。お体を大切にしてお過ごしください。

(お名前) ^{とよ}佐藤 ^{じゅんこ}淳子

(年齢) 45

(住所) 岩手 都道府県 盛岡 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私はまだ大きい地震の被害にあった
 ことがないので、地震の恐しさはわかりません。
 女 ここを言われてみて改めて地震の恐しさ
 というものを実感しました。
 もし大切な人を失うと考えた時、怖くて怖くて
 泣きそうになります。災害地の人々の
 ために私ができることをしてあげたいと
 思います。

| | | | |
|-------------|------|------|------|
| ふりがな お名前 | みき♡♡ | 年齢 | 16 才 |
| ご住所 | 宮城 | 都道府県 | 市・郡 |

「1・17は忘れない」

私は阪神・淡路大震災へ2次派遣隊給水支援班として神戸に行った自衛官です。私が今までの自衛隊活動で体験した災害派遣の中で一番心に残る出来事でした。まず最初に神戸へ到着した時は夜8時頃だったと思いますが、あたり一面は暗く被害の状況は目にすることが出来ませんでした。そして明朝、被害の物凄さを目のあたりにして、ただ愕然としました。そして間もなく道路状況を確認し給水活動に入り、私は2名1組だった同僚と、確か生田川公園だったと思いますが、そこで毎日被災者の皆さんのために水を運びました。その公園での出来事ですが、毎日昼時間になると毎日必ず暖かい缶コーヒーを2本差し入れてくれる男性の方がいました。私達は最初は断りましたが、その方が寒いのはお互いなんだからと私達の所へ届けてくれました。毎日の給水活動は私達の任務で当り前の事、毎日水をポリ容器に被災者の皆さんは給水車で来て、我々の状況などを話ながら水を持ち帰りました。私達は頑張っただけの一言しか言えず、情なくも思いました。そしてついにはライフラインも復旧し今日で給水支援も終了というその日は今まで給水に来られていた皆さんが、やっと水が出るお祭りになりました。今まで本当にありがとうございましたと私達にお菓子やジュースを差し入れてくれました。それも来る人達全員です。私達は申し訳ないやういしから人生で一番の感動を頂きました。もう10年たちまちが長年遅れたお礼と今後の神戸の皆さんの幸せを心から祈り、そして神戸の復興を願い、いつの日か訪れたいと思っています。必ずや復興します。頑張れ神戸!

宮城県多賀城市

天 摩 和 彦

37才

阪神大震災から十年、一九九一年一月十七日私は
 兵庫県から遠くはなれた秋田県の男鹿半島の
 宍^しで^あの^あ朝^あ方の^あ地震の^あ発生^あ阪神^あ高速^あ道路の^あ倒
 壊^あ現場^あ又^あ燃^あ之^あ盛^ある^あ商店^あ街の^あ現場^あの^あ状況^あ映像^あは
 十^あ年前^あの^あ映像^あ強烈^あによ^あみ^あが^あえ^あり^あま^あす^あ災^あ害^あは^あ忘
 れ^あた^あ頃^あに^あ又^あつ^あて^あ来^ある^あ私^あは^あ昭^あ和^あ五^あ十^あ八^あ年^あ五^あ月^あ二
 十^あ六^あ日^あ正^あ午^あに^あ発^あ生^あし^あた^あ秋^あ田^あ県^あ沖^あを^あ震^あ源^あと^あす^ある
 日^あ本^あ海^あ中^あ部^あ沖^あ地^あ震^あ津^あ波^あの^あ体^あ験^あ者^あの^あ一^あ人^あで^あす^あ男
 鹿^あ半^あ島^あの^あ海^あ岸^あ一^あ帯^あに^あ発^あ生^あし^あた^あ大^あ津^あ波^あ四^あメ^あートル
 か^あら^あ高^あい^あ所^あで^あ十^あ五^あ米^あ程^あの大^あ津^あ波^あで^あし^あた^あ犠^あ牲^あ者^あは
 百^あ三^あ名^あに^あも^あな^ある^あ實^あに^あ悲^あしい^あ災^あ害^あで^あし^あた^あ私^あは^あ津
 波^あの^あ中^あか^あら^あな^あん^あと^あか^あた^あす^あか^あり^あま^あし^あた^あ阪^あ神^あ災^あ害^あ
 の^あ現^あ状^あを^あ見^あて^あだ^あま^あつ^あて^あ居^ある^あ事^あが^あ出^あ来^あず^あ私^あに^あ出
 来^ある^あ事^あは^あ募^あ金^あ活^あ動^あよ^あり^あな^あい^あと^あす^あぐ^あに^あ決^あ意^あを^あし
 し^あ一^あ月^あの^あ秋^あ田^あは^あ雪^あで^あさ^あむ^あか^あつ^あた^あけ^あれ^あど^あ秋^あ田^あ県
 民^あの^あ幼^あ川^あの^ああ^ある^あさ^あん^あた^あと^あさ^あん^あと^あ暖^あか^あい^あ真^あ心^あを
 い^あた^あだ^あま^あし^あま^あし^あた^あい^あけ^あど^あ秋^あ田^あ放^あ送^あ局^あを^あ通^あじ^あて^あ日
 本^あ赤^あ十^あ字^あ社^あに^あ真^あ心^あの^あ募^あ金^あを^あと^あけ^あた^あの^あで^あす^あが
 一^あつ^あの^あお^あに^あぎ^あり^あ。パ^あン^あで^あも^あお^あ後^あに^あた^あて^あた^あの^あか^あ災
 害^あの^あ犠^あ牲^あの^あ六^あ四^あ三^あ三^あ人^あの^あご^あめ^あい^あ福^あ心^あか^あら^あ祈^あります^あ

秋田県男鹿市
 松山 鉄 庚 ハコ

阪神大震災より早くして十平を辿之ます。が
先づ次つて東京の緩性になられた方と
やすらかなごみい福心から祈つてあります
あの災害から十平兵庫阪神の復興は
実にすばらしいものとびす。時折当時の状況と
現在の復興とを比べた今を見るときは
まづと心もたごみます。よかつたなと
皆々の涙と汗の努力のたまものと心から
よろこびであります。
十平前例の災害発生時に少しでもお役に
なればと思ひ私ども来る事は
男衆のナマハゲ姿で 秋田の歌子前例の
莫かん生活動びした
当時の状況を知るたところの方と
岸の真心が

涙の出る程うれしく感じた二日間でした
 ナマハゲも寝張つて水と小さなおるうえから
 菓金には私はナマハゲのお酒の中に入れておきました
 うれしかつた事です。折田はさむい一月です
 びもたんさくの真ん中二日間やり通しました
 二日間で十八万程の菓金でした。少いでも
 お役にたてたのか。阪神兵庫のナマハゲも寝張つて
 一人でも男座半島のナマハゲも寝張つて
 くれた事。知つて居ればうれしいです
 菓金の当日はNHKで全国放送してくれました
 新聞紙上ではヨミウリ毎日アサヒさきかけなど
 大きな報道がなされました。本当に
 うれしかつたです
 皆さん寝張つて下さい。私は現在もナマハゲをして
 当日の夕方に身同封致します。ありがとうございます
 たんさくのオのオのオの心からお礼申し上げます。

阪神大震災募金
献金前日の
募金当日の記録の父より





オガシ

秋田県男鹿市

ヒヤマテツミ

松山鉄実ハコネ

男鹿半島のナマハダ

て 感じて を 吹息 若市 街大 の 災田 震秋

75歳 敏 郎 高 嶋

れで 自毎寸ら テ見の人 さ閑リ 靈変
こ報。とてのあ ンをく若 先楼くのとる。
煙一ねだしンた。ラの多 大優のづ名へく
黒第ん全栄イた。れボると。う。ッも上街日市て
のたね安全繁ラッさ中、いる」うだ最砂を多都き
筋え出も フまゑるていあるが敵安全4災生
一らが最る。イし知れれてでナリ大安6防も
た促「水。あラてきさわきとグく断 がジ
ッが姿。でがッ威起 行生こシづ油る。ば、1.17一
昇ビねの市街失猛提 にはたの街 あれ 1.17一
チしん士戸たをのがん域之望なる。でケハ。ッ
立テて防神ッ能然題盛地覚希全あきなな 1.17一
大のし消たか機自問がいはをほ安でべゲれき 1.17一
ぐ災何のいし市大の勤々動きはきす遠生と 1.17一
直震「上て樂都てく活ッ感吹興べ絶しかた 1.17一
真大る。庇しがでめ多ア「どが息復る根成学し 1.17一
が あ 頁日断夫 イて、人の れををも容 1.17一

「テーマ 1.17は忘れない」

H16 11/4

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

いきなりくる地震のおそろしさをあらためて
こわいと実感しました。

私たちのすんでいる所もいつ地震がくるか
わからないので、そのために色々なことを勉強
しておきたいと思いました。

| | | | |
|-------------|------------------|------|----------|
| ふりがな お名前 | にむら ゆうこ 仁村 悠子 | 年齢 | 16才 |
| ご住所 | 秋田 | 都道府県 | 秋田 (市) 郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私は大きな地震を今までに体験した事がなく、
 今回のセンターで1.17のシアターを見せてもらい
 初めて地震への怖さや恐ろしさを知った。
 ビデオを見ては時よりのこおさに言葉を
 失ってしまいました。
 今回のビデオを見てとても地震の事が勉強に
 なりました。

| | | | |
|-------------|-----------------|----|------|
| ふりがな お名前 | 宮城江梨子 | 年齢 | 17 才 |
| ご住所 | 秋田 都道府県 南秋田 市・郡 | | |

「1.17メッセージ」応募用紙

1995年1月17日未明 テレビ報道にて震災の映像をはじめ目にしました。自分の目を疑うような被害状況が、時間を置いて目を追うごとに明確になるにつれ怖さを感じ、不安も増してきました。

私も秋田沖にて大きな地震に見舞われた際、橋を渡る手前でした。時刻が少しでもずれていたら、橋の上でかなりの揺れを感じる状況になっていたため、今考えてもゾッとするその瞬間でした。

4年前に初めて神戸を訪れ、殆んど完全に復旧されたきれいな街並みとハーバーランド付近で震災のつめ跡が残されているのを目にし、復興までの月日の強い意志と努力、そして精神面でのそれぞれの想いの深さは一言では言い表せない大変なご苦労だったことと思います。

私達も自分で出来ることをこれからもし続け、協力・応援をさせていただきます。

(お名前) 佐々木聖子

(年齢) 38才

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

あの震災の日。テレビの画面には分断された高速道路、
エンクリートの下敷きになった車、あちこちからあがる火の舌に
鳥肌が立つほどの衝撃を受けました。

何年立っても消えることの無い傷を負いながらも町の
人々、色んなボランティアの方と復興に努力される皆様に
人々の強さを見て頂きました。

自然災害のみならず、何か起きても不思議ではない
世の中に、防災意識も高めつつ、人としていか
に行動出来るか、考えていきたいと思っております。

(お名前) 加藤美子

(年齢) 50才

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

震災から10年がたちましたが、街の復興と共に
心を受けた衝撃も癒されることを願います。
遠く離れた県ですが、決して他人事ではなく
お互いが助け合い支えあえたらと思います。
私だけでなく日本国民全員が同じ気持ち
だ"ということをお忘れなく"下さい!

(お名前) ^{しはた} ^{かなこ}
^し木田 佳奈子

(年齢) 25

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

私は生まれてから大地震は経験した事がないので
大地震の恐ろしさがありません。

でもテレビで、地震後の映像を見ると、大変な苦しい
です。バカが大地震が起きない事を祈っています。

また日頃の準備も必要だと思いました。

この先ずっと幸せであります様に...

(お名前) 佐々木 春奈

(年齢) 19

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

大変な10年だったと思いますが、希望を持って、がんばって下さる応募しています。

たかあし いあさ
(お名前) 高川 五十鈴

(年齢) 25歳

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

少しでも被害を未然に防ぐ為、日頃から
防災意識を高めたと思います。

(お名前) 神馬 幸子

(年齢) 23

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 (市) 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

1964年、今から40年前私は小学校5年生でした。それまで経験したことがない大きな揺れで私達は教室を飛び出し、一目散に階段をおり、ララントに避難しました。これが新潟地震です。そして1年後の1/17朝明阪神、淡路大震災が発生しました。朝一番のニュースで高速道路の高架やビルが倒壊映像に目を疑うばかりでした。死者が6000人以上、負傷者4万人以上という大惨事になりました。『頑張れ兵庫県』を合言葉にその後の復旧・復興対策は目を見張るほどありました。今、新潟中越地震を目の当たりにし、阪神、淡路大震災での兵庫県の皆さんに見せていただいた力こそ復旧の真の力だと思います。この力をお手本とし、微力ながら自分ができることを考えようと思います。

兵庫県のみんなが疲れすぎました。私達は皆さんの頑張りを決して忘れません。

(お名前) 工藤 幸子

(年齢) 49才

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

いつもと同じように、朝起きると、地震の報道がされていました。私が体験した地震の中で一番大きい日本海中部地震より何倍も大きな地震、そしてとても言葉では言い表せないほどの様子でした。自分がその場にいたら、とてもたえられない状況だと思えます。

そして、10年の時がたった今、「もう10年もたったのか」と思い、又、復興にあつかわった皆様のがんばりに感謝をしたいです。まだまだ元通りでないところもあるかとは思いますが、これからもあきらめずにがんばって下さい。

(お名前) 青柳 曜子

(年齢) 31歳

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

考える余裕すら与えにくれる事なく起きてしまった人々
すべてが無と化したあの一瞬
何をどのようにして息を吹き返えしたか 記憶すらないはず
そんな日々を過ごしている人々と前にし
私はいつか、何か出来るのだろうか
夫を遠く空から無事を祈る事しか出来なかった
しかしそれから10年
復興に向ける凄まじい勢いがある成長していく姿を見るたびに
人間のたくましさを感じるが自分だけが辛いはずだ
まだまだこれからだとお思います。
今以上に大変だとお思いますか
がんばらう！ がんばらう！！ がんばりぬいて下さい。
遠く空から今以上のエールを送りたいと思います。

(お名前) 佐藤 優子

(年齢) 49才

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災が2005年1月で10周年を迎えるわけですが、95年1月17日は私達家族4人は大阪府高槻市で生活していました、今でも忘れません夜明け前の5時50分前後に地震が起き、すぐにベランダに出てまわりを確認したところ、点滅しているはずの信号機が消え、電気がつかない常態でした、私達は幸いにも大きな被害もなく朝を迎える事ができましたが、その後、電気が回復してからテレビから各地の被害状況を把握するにつれ、日に日に地震被害の大きさと被害者の叫びが聞こえてきました。

私は当時勤務先が高槻西武の食品課グロサリーいました、扱い商品が保存食品がほとんどで、飲料水・米・缶詰・調味料・インスタント商品等で地震発生から商品部が窓口になり取引先に依頼・手配した商品が4トントラックで入荷、それを売場に搬入して陳列前にお客様が並びあつというまに完売。水と米を買ったお客様がリックサックに入れこれから歩いて大阪の生田区まで家族に会いに行くと言う方がたくさんいました、そういう毎日が1ヶ月前後続いた事を覚えています。

あれから10年です、まだまだ生活に困っている方がいると思います、しかし私達には未来があります、夢と希望を忘れず今を大切に生きましよう、そしてあの時の体験と人と人のふれあい、思いやりを伝えて行きましよう。

(お名前) ^{しみず とみお} 清水 富雄

(年齢) 46

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

。去年の9月に始めて神戸に行ってきました。
バスの中から神戸の街並を見て、何もわからずうらやまに変わ
り神戶を見て驚きました。
10年前、ニュースで見た神戸では何もうらやまに変わ
り10年たったのかと思いました。街並は変わってもおそろく
人によって気持ちの中で整理が出来てお人か、悲しい
気持ちのままこの10年を過ごして来た方もいると思います。
地震はいつ、どこで起こるか分かりません。いつ自分がそういう
立場になるかも分かりません。決して人事ではお人か、あのニュース
で見た光景を忘れないでいようと思います。
神戸のみなさん、この先もつらい事があってもお人か
全国のみなさんが応援している事を忘れず頑張って下さい。

(お名前) 中津川 順子

(年齢) 38

(ご住所) 秋田 都道府県 秋田 (市) 郡